

2025 年 7 月 9 日

各位

会 社 名      株式会社 TAKARA & COMPANY  
 代表者名      代表取締役社長    堆    誠一郎  
                     (コード番号 7921    東証プライム)  
 問合せ先      常務執行役員総務部担当 中込   克二  
                     (TEL. 03-3971-3102)

## 中期経営計画の業績目標の修正に関するお知らせ

当社グループ（以下、当社）は、2025 年 7 月 9 日開催の取締役会において、2023 年 7 月 7 日に公表した中期経営計画の 2026 年 5 月期の業績目標を、本日発表の業績を勘案して見直すこととし、次のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の業績目標の修正

##### (1) 業績目標の修正内容

|                 | 2024 年 5 月期 | 2025 年 5 月期 | 2026 年 5 月期 |        |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|--------|
|                 | 実績          | 実績          | 当初目標        | 修正目標   |
| 売上高             | 292 億円      | 296 億円      | 330 億円      | 330 億円 |
| 営業利益            | 42 億円       | 40 億円       | 43 億円       | 44 億円  |
| 営業利益率           | 14.5%       | 13.6%       | 13.0%       | 13.3%  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 30 億円       | 40 億円       | 29 億円       | 31 億円  |
| ROE             | 11.5%       | 14.1%       | 10.0%超      | 10.0%  |

##### (2) 修正の理由

当社は、2024 年 5 月期から 2026 年 5 月期を対象とする 3 か年の中期経営計画における目標達成に向けて、取り組みを進めてまいりました。売上高については、ディスクロージャー関連事業では、株主総会プロセスの電子化の進展・四半期制度の見直しなど、大きな環境変化がございましたが、主に統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo」の着実な導入顧客数の増加、シェア拡大による新規取引社数の増加、英文開示義務化に伴うディスクロージャー翻訳ニーズの高まり等により増収を継続しており、通訳・翻訳事業では、コロナ禍で中止、延期となっていたイベントや国際会議などが一巡、大型案件などの減少により 2025 年 5 月期は減収であったものの取引社数および受注数は増加しております。また、営業利益については、両事業ともに人件費や職場環境の改善などの経費の増加により 2025 年 5 月期は減益となっておりますが、当該投資が 2026 年 5 月期以降の着実な利益増に結びつ

くものと考えております。

このような状況を踏まえ、2025 年 5 月期までの計画の進捗および 2026 年 5 月期の当社グループの事業分野の更なる強化を見据え、中期経営計画の最終年度の業績目標（業績予想）を修正いたしました。

以上